

## ◎ノイロトロピン錠 [内], ◎ノイロトロピン注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ワクシニアウィルス接種家兔炎症皮膚抽出液 【分類】 疼痛性疾患治療剤

【単位】 ◎4 ノイロトロピン単位錠, ◎3.6 単位/A [3mL]

【常用量】 ■内服: 4 錠/日 ■注射: 1 回 3.6 単位

【用法】 ■内服: 分 2 ■注射: 静注, 筋注, 皮下注

【透析患者への投与方法】 減量の必要はないと思われるが, 透析患者の投与方法に言及した文献はない (5) 【その他の報告】 透析患者の掻痒に有効という報告あり (日腎誌 32: 319-26,1990)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要はないと思われるが, 腎不全患者の投与方法に言及した文献はない (5)

【特徴】 神経系に作用して鎮痛・鎮静、ストレスの抑制、自律神経を調節するとともに抗アレルギー作用、免疫不活作用などを持っていると考えられるが詳細は不明。副作用が少なく、腰痛・頸腕症候群には二重盲検法でも効果が証明された。透析患者の皮膚掻痒を改善するメカニズムとしては substance P を低下させる (日腎誌 32: 319-326,1990)、補体 C3 の活性化を抑制する (日腎誌 31: 1061-1067,1989) などの報告がある。

【主な副作用・毒性】 ショック, 発疹, 肝障害, 胃腸障害, めまい, 痙攣, 意識障害, 顔面紅潮など

【tmax】 内服: 0.5hr

【透析性】 不明 (0.5~1hr で透析膜をほとんど通過する)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない

【更新日】 20200316

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。